

木原地区の都市計画道路 及び村道整備について



はな り くにお
羽成 邦夫
議員

備をしたい。

アクセス道路への接 続は

質問 木原郵便局前の国道125号線までは県道なので県が整備を行うと思うが、その手前、木原・上宿の下から下舟子、そして阿見町島津まで村道がつながっている。阿見町島津までは、圏央道のアクセス道路が接続している。そのアクセス道路まで接続可能なのか、どのような構想を持っているのか伺いたい。

答弁（経済建設部長） 国

道125号線と平行に霞ヶ浦沿いの水田の中を走る道路は、村道1001号線である。本村としては、県道上新田木原線バイパスと連絡する道路、都市計画道路布佐・上宿線の整備を優先している。提案の木原から舟子に至る村道1001号線の整備については、今後

の道路状況を勘案しながら、まずは都市計画道路布佐・上宿線、この道路の整備を優先していきたい。



重要な幹線道路となる県道上新田木原線バイパス

※セツトバックとは敷地境界線、道路境界線などから後退して建物を建てること。

質問 都市計画道路については、第4次美浦村総合計画の中で平成6年につくられ、その後総合計画も第5次、第6次と進み、見直しもないまま20年が過ぎ、現在に至っている。去る2月19日、都市計画道路でもある県道上新田木原線バイパスが、木原・浜入口まで開通した。残る場所は、木原・浜入口から木原・上宿の木原郵便局前の国道125号線までである。この部分はいつごろまでにつなげる考えであるのかを伺いたい。

答弁（経済建設部長） 県

道上新田木原線バイパス520メートルが供用開始と

なった。今後の予定について、竜ヶ崎工事事務所に確認したところ、国道125号線までの残りの区間整備については、平成26年、27年で測量、用地交渉を行い、順次整備を進めるとのこと。そして、都市計画道路布佐・上宿線は、木原郵便局前の国道125号線から国道125号線バイパスを結ぶこの街路は、平成6年都市計画の線引きと同時に、都市計画決定をしている。新しく家を建てられる方については、※セツトバックのお願いをしている。この都市計画道路布佐・上宿線については、県道上新田木原線バイパスの全線開通の時期にあわせて整備を進め、安中地区から国道125号線バイパスまでの道路ネットワークをきちつとつなげるということで整